

日本脳炎予防接種実施医療機関

※接種は、病院・医院などの診療時間内となりますので、事前に医療機関へ電話などで確認をしてください。

※下記以外の医療機関で接種を希望する場合は、事前手続きが必要な場合もありますので、保健センターにご連絡ください。



【館林市内】

令和7年4月現在

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
うえの医院	72-3330	高橋クリニック	75-7772	はまだクリニック	80-1100
小曽根整形外科	72-7707	たけい小児科・アレルギー科	76-2525	堀越医院	73-4151
神尾内科医院	75-1288	多々良診療所	72-3060	真愛ウィメンズクリニック (旧真中医院)	72-1630
公立館林厚生病院	72-3140	館林記念病院	72-3155	横田医院	72-0255
ごが内科楡クリニック	73-7587	長谷川クリニック	80-3311	吉田内科クリニック	70-7117
こやなぎ小児科	80-2220	ハートクリニック	71-8810		

【邑楽郡内】

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
いたくら内科クリニック	70-4080	阿部医院	62-5428	三浦医院	62-2917
ふじの木整形・内科クリニック	91-4070	新井内科クリニック	20-1220	湯沢医院	62-2209
竹越医院	84-3137	小児科おぎわらクリニック	61-1133	加藤医院	89-1031
明和赤ちゃんこどもクリニック	84-1166	たなか医院	62-2881	小林内科医院	88-8278
小西医院	86-2261	蜂谷病院	63-0888	寺内医院	88-1511
千代田医院	86-6080	富士クリニック ペインクリニック	20-1971		

※年度途中で変更になることがあります。

<日本脳炎とは>

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。ヒトから直接ではなく、ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になることがあります。感染者100～1,000人に1人が脳炎などを発症します。脳炎のほか髄膜炎や夏かぜ様の症状で終わる人もいます。脳炎にかかった時の致死率は約20～40%ですが、治った後に神経系の後遺症を残す人が多くいます。

<日本脳炎ワクチン>

日本脳炎ワクチンは、ペロ細胞という細胞でウイルスを増殖させ、ホルマリンなどでウイルスを殺し（不活化）、精製した不活化ワクチンです。第1期に3回（1回目・2回目・追加）と第2期に1回の計4回接種することで免疫が獲得できます。

<日本脳炎ワクチンと副反応>

主なものは、局所反応として注射部位の紅斑（赤み）や腫脹（はれ）があります。他に発熱、せきなども見られることがあります。重篤な副反応として、ごくまれにアナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、脳炎、脳症、けいれんなどの報告があります。

さらに詳しい情報を知りたい場合は、厚生労働省の「日本脳炎ワクチン接種に関するQ&A」をご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/dl/nouen_qa.pdf

